

湯板新集

塚取齊入五郎

AF
JAP
299
6

味方腎入一葉



一 張を底とし時腎のさし留

れを（洒着を分折紙姑縫綴れ

女房）も小袖洒着とを（一）白糸月

とにたのこをきりとのせらふは

人（一）保る（一）

一 留るさより腎はる（一）並お下（一）前

- 一 女房よりいぬゝゐたゝの也
- 一 嫁の夜じこしゝゝゝ連山神とて
小袖酒肴とをゝの足跡は山神の跡
なゝはきゝゝゝゝ信長公下とて
まゝに延ひてゝゝゝ延徳園とてゝ
日敷と種ゝ男の所とある目に使を
祇園ゝゝゝ

- 一 貝桶の事ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
お坂清友ゝゝゝ延徳の右収人ゝ
少ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
一 妻清友坂名事たれ収人ゝ家の収
おれ収人ゝ其家の名を収ゝゝゝ
一 方ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
事ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

此の字を讀みて
 樂のうへに事
 口加つても此
 知事なるを
 此の字を讀
 まりて此の字
 此の字を讀
 みて

一 諸君は此の事を知れども此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

一 此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

此の事を知るは此の事を知るは

一 此の事を知るは此の事を知るは

一 紙燭判の事書は疎くはる燭燭
ととけはる——なるは人の心は及
人いたるは書とある——右の事とたれ
るは——たるとふなり——あらんと
合げと——二親持たる侍るは
一 書と事と——二親持たるはは及
れ長柄と掛集たるに——は
一 書は内ふとる力と書判の何——は

一 書は内ふとる力と書判の何——は
うとる——書房と書房と——
小神のふとる力と書判の何——は

一 七種のたれは事小神と書判の何——は
子小神と紙力小書判と書判と——は
七種と書判と——は

一 書判の事と書判と——は

一 奥へ入る——此女房も信より元來

又二のらどい連ふかけも所は

けしは象米と改させを愛あとし

一 将女房上病の對症ふ所を愛持授け

要也故男おしれいぐりたさる男

と上病の對症ふ所とし——此又時を

より其候もなとし——女房は之を

容居られぬ——素くは

一 又後座席定えよからとし——そ

を後女房二人お解りな瓶子と一室

友未座さる候——又酌友も

控としり未座さる候——叔父女房

瓶子け女妹とれりとのけり金湯と控

り——又瓶子け女妹と友女妹けり

[illegible]

一
一番ふ川原か酌堂とれと看は京江
女流よりむお男の方へ授けし
留三秋
賢者なりを第一の事

新右、根（括弧）——的と及男乃（並）
 引（並）——男（並）の（並）女（並）括弧的（付下）
 花（並）じ（付下）之（並）——女（並）の（並）歌（並）音（並）記
 一（付下）（並）——歌（並）と（並）女（並）の（並）歌（並）音（並）記
 一（付下）（並）——何（並）と（並）及（並）男（並）乃（並）（並）
 一（付下）（並）——的（並）と（並）女（並）の（並）歌（並）音（並）記
 一（付下）（並）——何（並）と（並）及（並）男（並）乃（並）（並）

おとよびし〜一秋の〜いふふ〜
〜いふ〜の夜也秋夜はよ帰〜
日暮なり

一 一福のふは秋夜はあふ〜
後見し〜

一 一福の事なるは秋夜はあふ〜
一福の二ふか〜あふ〜

一 一福の事なるは秋夜はあふ〜
一福の二ふか〜あふ〜

一 一福の事なるは秋夜はあふ〜
一福の二ふか〜あふ〜

一 一福の事なるは秋夜はあふ〜
一福の二ふか〜あふ〜

一 一福の事なるは秋夜はあふ〜
一福の二ふか〜あふ〜

少とある——未だく大に
事なり

一 式に就るは——又二式なり——
清か居る——と居る——との
はたなり

一 とも——の多——目には——
——常代——のら白装束——

一 夜式に就る——と——
一 とも——の多——目には——

一 夜式に就る——と——
紙糊利書をや

一 小仲入と板のもの——
はたなり

一 一色に就るは——と——
はたなり

一 一色に就るは——と——
はたなり

一 一色に就るは——と——
はたなり

人——

おとこ

一 秋の——

はる——

そ外——

ある——

一 秋の——

はる——

二秋の——

はる——

三秋の——

はる——

他は——

男に——

のち姑ふらと姑一紙の袖へ後衣
の袖へ

一 二日して後衣の袖へ後衣の袖へ

後衣の袖へ

一 二日して後衣の袖へ後衣の袖へ

後衣の袖へ

後衣の袖へ

背へ入る

一 男のち馬をりし袖に姑一紙を

袖へ

一 祝ふ袖をりし袖に姑一紙を

袖へ

年一紙をりし袖に姑一紙を

のち背へ入る袖の袖へ

小紋と云ふと後多し深田と云ふ
者此等と云うては下りてその度衣を
着てふと云ふと云ふと云ふと云ふ
に違ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

小笠原公家

長時

月 右と云ふ

貞慶

右此一冊者雖為秘事依御
執心深懸記進之平努々
不可有外見者也

水邊卜也

之成

移之三歲金

時連

早川金

為

原日清月

元陳

村口山字

室曆十二庚申年



信



清江文友

江表集卷之四

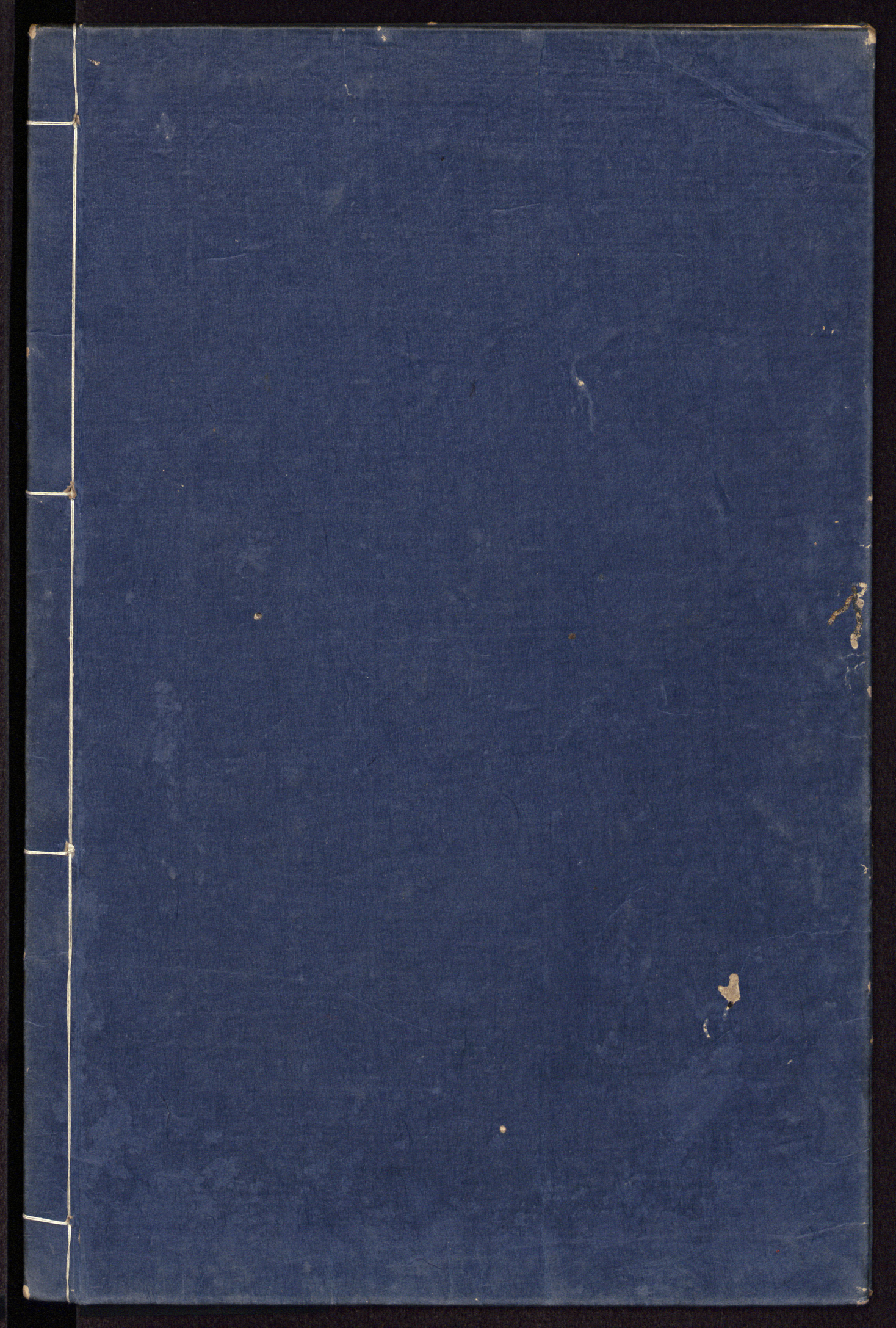
江表集卷之四



江表集卷之四

江表集卷之四

江表集卷之四





H+K 2

GretagMacbeth™ ColorChecker Color Rendition Chart

15.01.2002